

『夏合宿』

波頭、川村、亀山さんそして〇という4人の班で、先行的不安の合宿が始まった。

まず出だしで、〇がつかずついて、予定日を一日おそくして、上野駅発の「八甲田」?に乗る。朝 4時半 遠軽駅。天気雨、何とかした出発に存った。

天気はすぐに復活して、たしか初日は120kmぐらゐ走ったと思う。コースは遠軽から北上して、海をわた、サロマ湖岸を通り、網走美幌まで。網走では、1時間以上喫茶店にいたと思う。利務所が印象的。

この時、4人の意見が一到して、美幌ユースに泊まることにした。会員証を忘れた人間がいたからだが、2日目。この日は美幌峠を越えて、屈斜路湖沿いに砂湯キャンプ場まで。何と云っても美幌峠からのながめは最高だった。初キャンプ、メニューは当然地ラズ。ご飯のケーキを作ったのはこの日だったか。またいっけい、そして夜のメインイベントはジギニガル風景。ご対面したのは亀山さんだけだったが、五百田は高い!

3日目は砂場にとまり個人行動をした。
亀山さんと〇は摩周湖から弟子屈 双岳台
双湖台まで行き砂場へ。本当は阿寒まで行
きたかったのだが途中、下痢をした者約1名に
たおむ。薬頭、川村は午前と午後に分かれて摩周
湖まで行った。

この日の夕飯はハンバーグ。キャンプでは
絶対にやってはならない料理であった。

ハンバーグ→肉まんゴ→肉いため→すてと
いう経過をたどった。この日の夕飯は何を食
たか覚えていない。失敗のシチュエーションから立ち直
りたときどきにどニガの班と食った記憶がある。
その中に「すて」を非常におしがっていた人がい
たのだろうか。

4日目。斎藤さんたちの班が「ユースに泊まると
言う600kmも走った」と聞き、初日ユースに泊ま
たことを隠して早朝また斎藤さんたちが寝てい
る間に出発した。これからあとはいよいよ同じ
ユースを釧路まで走ることにした。

この日は砂場から宇登呂まで。とニガが
宇登呂に早く着いてしまった。こいが悪かった。

よればはよ 知床大橋まで行こうと言う
ことになったのだ。早く着いたと言ってる時はさきと
いた。宇登呂を出ると すぐダートになり上り坂
が待っていた。ひと山越えたところで川村が
何か宇登呂ぬに忘れてきたことに気がつき、
しかたなく 非を返すことにしたのだが、これが
正解を未了だ。あのまま行っていれば、熊
に食べられていただろう。という事で 今人も
放心状態で宇登呂にもどった。キャンプ
場でキャンプ 何を作ったか覚えていない。

次の日、この日も個人行動。しかし私と
知床大橋まで行った。波頭はバス 川村
は船で、それ 龜山エンと〇は チャリンコで。
目ざすは カムイワシカの滝。目標があるがイ
ダレルは 軽いものだ。上流に女湯 下流に男湯
上をのどきのどきの入湯は 寂れるものだ。

波頭 尾どは かげとよしのぼって見たというから
すごい。ただ 杖を持っていないのが残念だ。
宇登呂キャンプ場 2泊目。

明日宇登呂 → 斜里 → 標津
知床林道 がまだ 完成して いないからこの
のぼるコースに落ちた。標津まで 順調だ。

そろそろ風呂に入り、洗たくを(たい)と言っ
て民宿「船長の家」に泊った。天気は良
く、また時間も早かたし、民宿のレポサ
も加わって、あとで大きく後悔した。

次の日、根室まで行くと「寒さ(やげ)が印
象的だ、これで夏か」と言っていた。寒さ(やげ)が印
象的だ、これで夏かと言っていた。寒さ(やげ)が印
象的だ、これで夏かと言っていた。

根室の滞在をさかし回りが一軒もな
かった。根室人は麻痺(まひ)をうけるのか？

このころから朝食は茶店で ひまがあれば
茶店へと足が向いた。新聞雑誌を読みあ
り、世間の様子を知ら。しかし民宿に泊
ったあとは急に節約キャンプになった。

根室の公園 途中では駅前の草むら
で釧路で駅長とヤツ合宿の気分が盛り
上がってきた。

釧路駅にはおもしろいことがあった。4人で、ニョ
トに入るとおもしろいところへあつた。おもしろいところへあつた。おもしろいところへあつた。

おもしろいところへあつた。おもしろいところへあつた。おもしろいところへあつた。おもしろいところへあつた。

おもしろいところへあつた。おもしろいところへあつた。おもしろいところへあつた。おもしろいところへあつた。

釧路から広尾、ハワープ。

広尾では寺の境内でテントを打た。メジャーはこのキャンプで最高のビーフシチューを作った。お存口の中をあげた。

夜は川村をテントにのこし、夜のお買い物に出かけた。テントでは家出少年事件が起る。しかし川村の見事な処置により解決した。

あとはただ走るのみ。襟裳を回ってから、の追り風に乗る。快車で進んだ。

静内→葦川牧→支笏湖岸モラップへ。モラップ1泊目は何もなく終わった。

次の日は個人行動日。例として亀山さんと○はみで160kmを走破した。

さて問題の夜。と宿りのテントのおじさんが「酒のみにこい」と言ったので、よる二人を出かけた。おじさん家族づれで双子の姉妹がいた。チャンスだったが双子とは思えなかった。酒は飲み放題。おじさん上げ放題。しかし終わった……

大ワープ

札幌につくと洗たく入浴を済ませて。CITY BOYに生まれ変わり、民宿「波頭の家」

へ向った。札幌駅まで ^{カウ} 遊馬
集団を横目に赤い車をとばした。

ジンギスカンに生ビール 最高のお返し。
夕夕にはたつ家庭の味 波頭また合宿の
はに行こうぜ！

というわけで合宿は終わった。

「合宿の結果」

エース 1回 民宿 - 1回 (佐野) 1回
騎乗 2回 のり キャンプ

風呂 - 洗たく - 5回

茶テリ - 電気がええいれめほど

〇〇 - 約 7万